

2019年度 全国「和食」連絡会議 議事録

文責 事務局 武田

日時 : 2019年(令和元年)5月27日(金) 14:00~16:20

場所 : 秋葉原UDXカンファレンス ギャラリーNEXT2 (東京都千代田区)

出席者 : 出席者69名

1. 開会 :

- ・14:00 司会の山本副議長により開会が宣せられた。今回は全国「和食」連絡会議(以下連絡会議)登録に限らず和食文化国民会議(以下和食会議)全会員に案内した旨の報告、および本日のプログラムの説明があった。

2. 挨拶 :

- ・連絡会議議長 服部幸應より開会挨拶がなされた。昨年は、役員改選が無く本会を開催しなかったため2年ぶりの開催となる。連絡会議の事業を良く知っていただき積極的に参加願いたい。

3. 役員紹介 :

- ・服部議長より、連絡会議の役員改選につき、以下7名の紹介がなされた。副議長 山本真砂美、民輪めぐみ。幹事 上野正人、窪雅寿美、そが真由美、平出淑恵、溝上宏。役員任期は本会議より2年間、和食会議会長の承認を受け連絡会議連会議議長が任命する。

4. 来賓紹介・挨拶

- ・山本副議長より来賓、農林水産省食料産業局食文化・市場開拓課 和食室長五十嵐麻衣子氏、同課長補佐花島厚史氏、同室伊藤百合子氏を紹介した。五十嵐室長より来賓挨拶があり、全国「和食」連絡会議が行う情報発信への期待、農林水産省における「和食」保護継承に関する事業の紹介、それらにおいて和食会議と連携する旨が述べられた。

5. 2018年度事業報告及び2019年度事業計画説明

- ・山本副議長より、連絡会議の活動の概要、並びに事業報告および事業計画の概要の報告がなされた後、各担当役員よりそれぞれのテーマについて説明がなされた。

- ① 山本副議長より「Facebook等コミュニケーション力の強化」について、現状の報告がなされ、2018年度より開始した地域特派員の説明の際に、来場の地域特派員百田美知氏を紹介した。2019年度以降も更にコミュニケーション力を高める必要があり、FB連絡会議グループへの積極的な投稿参加を要請した。
- ② 上野幹事より「1204和食セッション」について、2018年度第4回交流会の報告があり、2019年度第5回交流会は12月4日に永田町のJA共済カンファレンスホールで開催する旨の報告がなされた。

- ③ そが幹事より、地域交流会の目的、および2018年度企画として、毎年4月3日に埼玉県小鹿野町で行われる伝統行事「オヒナゲエ」（お雛粥）に、本年4月3日に参加したことの報告がなされた。2019年度も「五節供」をテーマとして検討しており、候補の提案を求めた。
- ④ 溝上幹事より、「和食ヤングアンバサダー」を2018年度より開始した旨の報告、今後は入会者や調理師養成施設の要望を把握して、市場見学等の魅力ある特典を増やし、入会者の増大に繋げる旨の発言がなされた。
- ⑤ 山本副議長より、「五節供」に関わる取り組みの報告がなされた。2018年度は「五節供プロジェクト」として取り組んだが、2019年度は「五節供に和食を」推進委員会として体制を変更、各分会・連絡会議の事業に組み込む形で進める。本年度は既に5月5日端午の節供の機会にSNSを使った“端午の節供 我が家の「和食」キャンペーン”を実施した。連絡会議としては、ホームページの「五節供」特設ページの充実を中心となって行う他、先に述べた各活動において「五節供」の普及を行う。
- ⑥ 最後に、山本副議長より、連絡会議の将来像、本年度の事業スケジュール、予算の説明がなされ、事業報告・事業計画説明を終了した。

6. 講演「欧米における和食事情」

- ・休憩を挟んで15：00より民輪めぐみ氏（副議長 料理王国編集長）、服部幸應氏（議長 学校法人服部学園理事長）より、「欧米における和食事情」と題する講演が行われた。
- ① 民輪めぐみ氏
 - ・世界中で和食がファッションとして受け入れられている状況が、海外における日本料理店数の増加、海外からの訪日客数の増加、外国人に好まれる和食のメニュー等により説明され、その後、リヨンでのポキューズ・ドールを中心に、フランスや北欧で和食がどのように捉えられているか、現地での体験を交えて述べられた。
 - ② 服部幸應氏
 - ・長年の海外との交流経験に基づき、海外の日本料理店の増加から、和食が好まれるようになってきた理由、及びスペインの「新バスク料理」運動等を例に、今後、和食を世界に更に拡大していくための課題と方策が述べられた。

以上